

執筆者紹介

森永貴子（もりなが・たかこ）一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程

主著：「イルクーツク定期市とシベリアの商品流通－1792～1839年の史料を中心に」、深沢克己編著『近代ヨーロッパの探求⑨国際商業』ミネルヴァ書房、2002年；「帝政期におけるイルクーツク商人の商業的関心と地域活動の変遷－18・19世紀のシベリア都市民」『ロシア史研究』62号、1998年

西山克典（にしやま・かつのり）静岡県立大学国際関係学部教授

主著：『ロシア革命と東方辺境地域－「帝国」秩序からの自立を求めて』北海道大学図書刊行会、2002年；「帝国秩序の崩壊と再編－ストルイピン改革からスターリンへ」『ロシア史研究』64号、1999年

中嶋 毅（なかしま・たけし）東京都立大学文学部助教授

主著：『テクノクラートと革命権力－ソヴィエト技術政策史 1917-1929』岩波書店、1999年；『現代国家の正統性と危機』（共編著）山川出版社、2002年；「ハルビン法科大学小史（上）（下）」『思想』952号、953号、2003年

神長英輔（かみなが・えいすけ）日本学術振興会特別研究員（東京大学大学院情報学環）

主著：「プリアムール総督府管内における漁業規制と漁業振興 1884-1903」『ロシア史研究』73号、2003年；「露米会社と捕鯨業」『ロシア史研究』69号、2001年